

CNFに関する市内事業所等アンケート調査結果

2019年3月に策定した推進構想について、本年度が計画期間の中間年であり、2025年度からスタートする第3期アクションプランの検討・策定を行うことから、市内事業所等における実態や課題、CNFを活用した取組状況等を分析・研究し、今後の計画・施策に活かすための基礎資料として実施

市内事業所アンケート調査

調査概要
方 法 アンケート調査依頼：郵送／アンケート回答：電子回答
時 期 2024年7月1日(月)～7月30日(火)
対 象 製造業のうち、CNFの活用が想定される496事業者(下表を参照)
回答率 25.6% (N=127)

＜対象事業所及び回答率＞

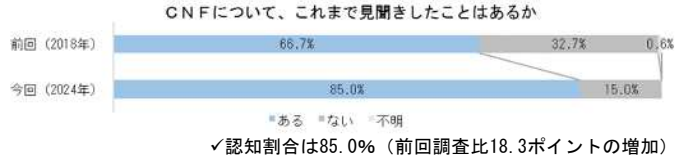
コード	中分類	対象	回収	回収率(%)
09	食料品製造業	59	10	16.9
11	繊維工業	21	6	28.6
12	木材・木製品製造業	19	6	31.6
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	234	56	23.9
16	化学工業	33	15	45.5
18	プラスチック製品製造業	71	21	29.6
19	ゴム製品製造業	13	2	15.4
20	電子部品・デバイス・電子回路製造業	7	3	42.9
31	輸送機械器具製造業	39	8	20.5
合計		496	127	25.6

＜参考：前回(2018年)市内事業所アンケート調査＞

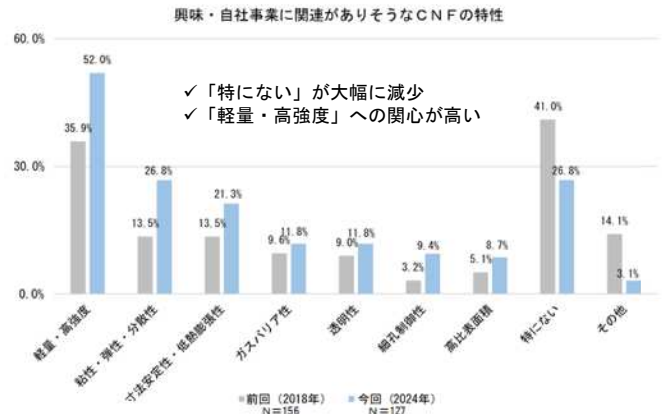
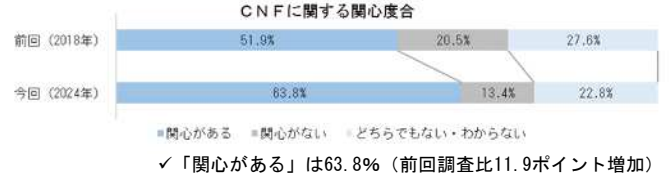
方 法 郵送配布・郵送回収法
時 期 2018年8月6日(月)～8月20日(月)
対 象 市内製造業 450事業者
回答率 34.7% (N=156)

調査結果

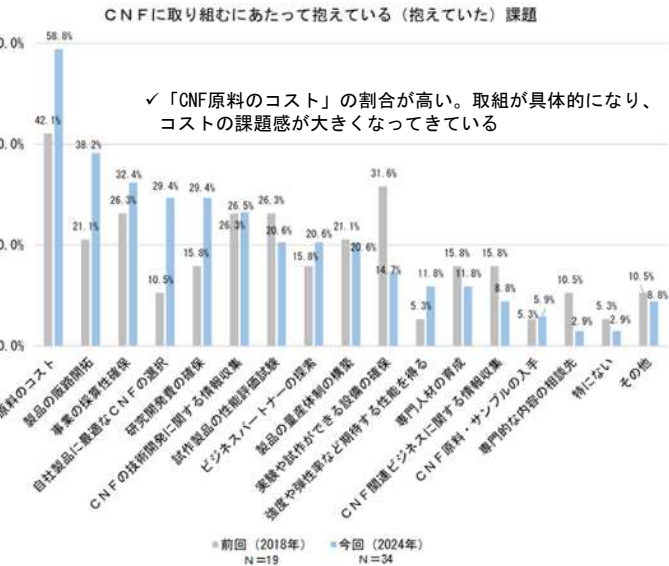
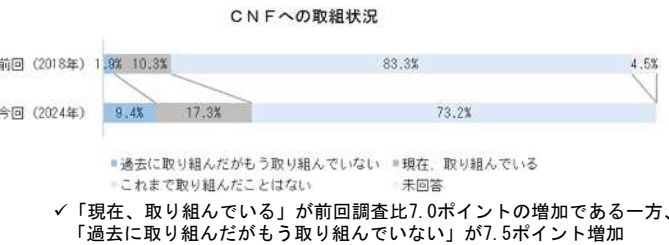
CNFに関する認知度



CNFに関する関心度合い

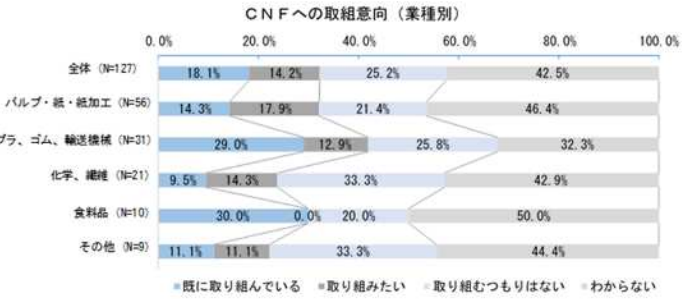
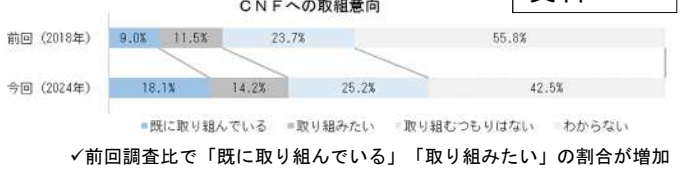


CNFの取組状況

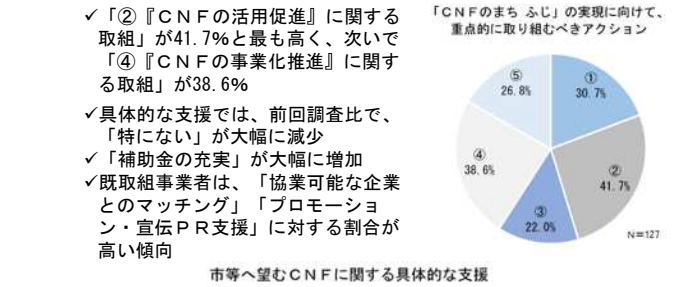


✓様々なCNFがあり、どのCNFを選択したらよいかも課題
✓「実験や試作ができる設備の確保」課題は減少⇒設備・機器等の充実

CNFの取組意向



市が重点的に取り組むべきアクション&望む支援等



＜その他要望等の自由意見＞
・CNFのまちとして宣伝するのであれば、CNF自体の知名度アップが必要
・市の仲介案件で全国展開している事例もあり、引き続きの支援をお願いしたい
・出口創出に協力頂ける企業様とのマッチングを希望
・製紙分野への応用、中小企業の参入支援をお願いしたい
・展示会など、富士市が中心的な役割を果たしているの継続してほしい

CNFに関する市内事業所等アンケート調査結果

プラットフォーム会員企業アンケート調査（市外企業）

■ 調査概要
方 法 アンケート調査依頼：メール／アンケート回答：電子回答
時 期 2024年7月10日(水)～7月30日(火)
対 象 会員のうち、市外に拠点又は主たる事業所をおく97事業者
回答率 24.7%（N=24）

＜対象事業所及び回答率＞

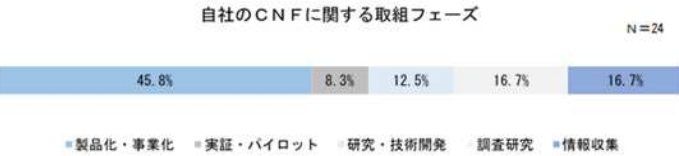
CNFに関する事業区分	対象	回収	回収率(%)
CNFの製造	12	6	50.0
CNFの利活用	65	15	23.1
製造機械・装置	14	2	14.3
金融・サービス	3	0	0.0
分析関係	3	1	33.3
合計	97	24	24.7

調査結果

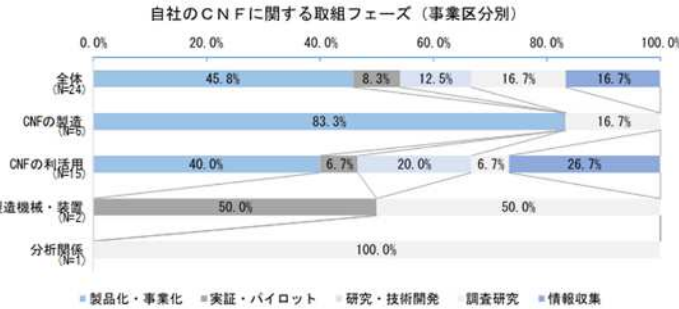
■ CNFの取組状況



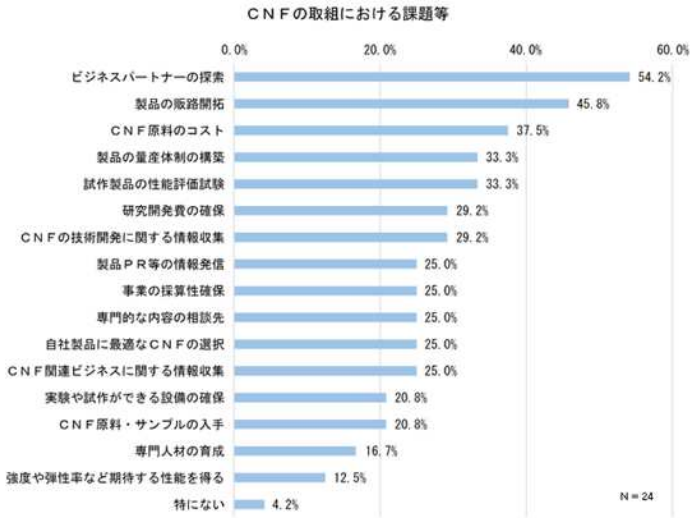
✓「現在、取り組んでいる」が79.2%であるが、「過去に取り組んだがもう取り組んでいない」が8.3%（CNFの製造：1社、CNFの利活用：1社）



✓「CNFの製造」会員企業を主に「製品化・事業化」フェーズに至っている割合が高い



✓5年前と比較して「進展している」の回答割合が高く、サプライヤーを中心に、自社製造のCNFが提供可能な状況に進展

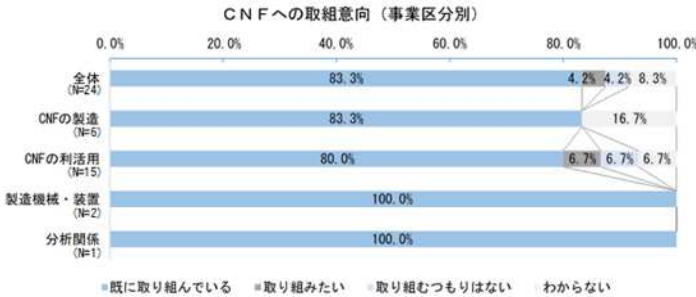


✓「ビジネスパートナーの探索」の割合が高く、共創、協業、共同研究などが求められている

■ CNFの取組意向



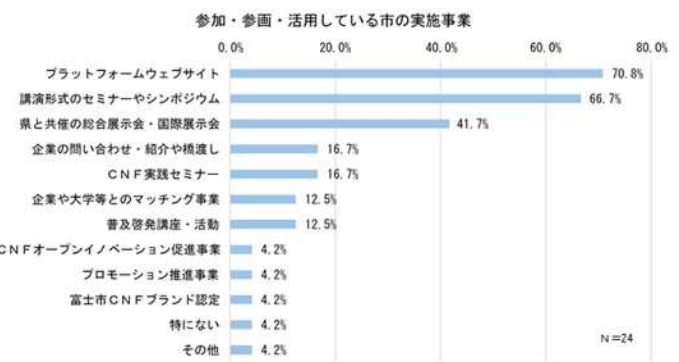
✓プラットフォーム会員であることもあり、取組意向は非常に高い



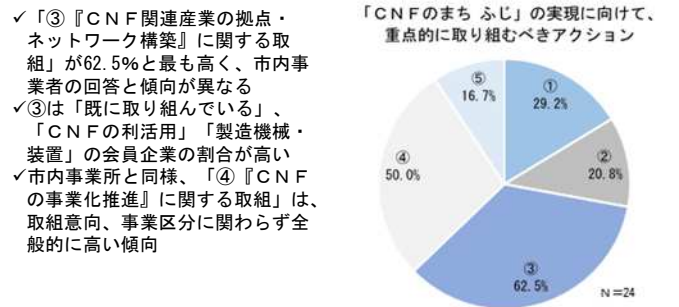
＜自社等におけるCNFの展望＞

- CNF製造企業
- ・低炭素、循環型社会構築に資する基礎化学品／材料の一つとして継続的に使用されていくようにしたい
- ・CNFは「使える素材」であるということを産業界に認知していただくことが大事
- ・CNFサプライヤーのそれぞれの強みを出し合い、業界全体として盛り上げていくことが必要
- CNF利活用企業
- ・食品残渣、食品ロスの削減などによる地球温暖化防止に貢献したい
- ・CNFを使用した商品を使用することで、経済活動に貢献し環境問題にも繋がる商品循環などを構築したい
- ・用途ごとのサプライヤーとユーザーのマッチングを進める必要
- ・スギから抽出されるリグニンを改質しプラスチックへ、残りのセルロースをCNFに活用
- ・今のままでは、どうしようもないのではないのか
- ・現状のままで苦しい

■ 市が重点的に取り組むべきアクション&望む支援等



✓「ウェブサイト」の活用の割合が高く、情報収集のツールとして活用している
✓「総合・国際展示会」は「CNFの製造」会員企業の多くが活用している



＜重点的に取り組むべくアクション（取組意向別・事業区分別）＞

区分(N)		①	②	③	④	⑤
全体(24)		29.2	20.8	62.5	50.0	16.7
取組意向別	取り組んでいる(20)	30.0	20.0	70.0	45.0	20.0
	取り組みたい(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	取り組むつもりはない(1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	わからない(2)	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
事業区分別	CNFの製造(6)	16.7	0.0	50.0	100.0	0.0
	CNFの利活用(15)	40.0	33.3	66.7	26.7	13.3
	製造機械・装置(2)	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0
	分析関係(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

※丸数字は、市が重点的に取り組むべきアクションの①～⑤
※網掛けは60%以上

＜プラットフォームに望む機能や役割＞

- ・関係機関の橋渡し
- ・補助金等の拡充及び申請支援
- ・相談窓口の開設
- ・マッチング
- ・情報ネットワーク・交流の場
- ・課題や行き詰まりの分析とその解決
- ＜その他意見や要望等＞
- ・関東圏や関西圏等での情報発信やマッチング等イベントの開催
- ・現在の取組を継続する

市内事業者とプラットフォーム会員では結果や傾向が異なることから、あらためて「市内のプラットフォーム会員」に対する調査を行う